

令和6年度 全国労働衛生週間を迎えて

平塚労働基準監督署長 多田 義信



日頃より会員事業場の皆様方には、労働災害の防止及び労働者の健康確保といった労働基準行政の推進にご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。

今夏開催されたパリオリンピックでは、有観客での競技や選手の活躍により大変な盛り上がりを見せた一方で、誤審問題、SNSでの誹謗中傷問題、セヌ川の水質(アスリートファースト)の問題、男女の性別をいかに分けるか、紛争当事国の参加の問題など様々な課題も明るみになり、技術革新の功罪や健全な運営・リスク管理の難しさなどを考えさせられました。

さて、厚生労働省では9月を準備期間、10月1日から7日までを本週間とする「全国労働衛生週間」を今年も実施いたします。令和6年度のスローガンは、「推してます みんな笑顔の健康職場」です。働く上で基本となる健康の確保を推進することによって、誰もが笑顔で快適に働くことのできるような、愛される職場づくりを目指していくことを表しています。

現代日本に広がる「推し活」文化から着想を得たと思われるスローガンですが、「推し」の意味として、双方向的なコミュニケーションは含まれておりませんので、多少の違和感を覚えるところはあるかもしれませんが、日曜の夕方に明日からの1週間を憂う職場よりも笑顔になれる職場のほうが、健康確保や製品の品質・サービス向上等につながることは容易に想像できます(もちろん安全衛生確保の緊張感が前提です)。神奈川県下における労働衛生の現状を見ますと、高齢化の進行等により一般健康診断の有所見率は令和5年度で59.7%と引き続き増加傾向にあり、この数値は全国の有所見

率よりも高い状況にあります。

また、脳・心臓疾患及び強い心理的負荷による精神障害等の労災請求件数はここ数年連続して増加しています。過労死等を防止するためには、働き方改革の推進とあわせ、メンタルヘルス対策、長時間労働の抑制等をさらに進めていく必要があります。

全国的にも業務上疾病は引き続き高い発生件数で推移しており、熱中症や腰痛など、気候変動、労働者の高年齢化等の要因による業務上疾病の発生が増加している傾向にあります。このような状況を踏まえ、第14次労働災害防止計画の労働衛生分野において、令和5年度より「自発的に安全衛生対策に取り組むための意識啓発」、「労働者の健康確保対策の推進」、「化学物質等による健康障害防止対策の推進」等の重点事項を定め、神奈川局においても具体的なアウトプット指標やアウトカム指標を設定して労働災害防止対策を進めています。

パリオリンピックでは個人の活躍だけではなく、種目としての強化、底上げに成功している例も見受けられました。チーム一丸となって知恵を出し合い、情報を収集し、ルール変更等にも素早く反応し、相当の費用も捻出し、地道に努力を続け、競技力強化を図ったことが推察されます。

皆様方におかれましても、この全国労働衛生週間を機に健康職場を形成すべく、職場の総点検の取組等を通して、労働衛生管理力の一層の強化をお願いいたします。

会員事業場の皆様方のますますのご発展とご健勝をお祈り申し上げますとともに、それぞれ「イチオシ(一推し)」と自負できる健康職場となりますようお願いいたします。

令和6年度 全国労働衛生週間スローガン
推してます みんな笑顔の 健康職場

全国労働衛生週間 平塚地区促進大会

「推してます みんな笑顔の 健康職場」のスローガンのもとに、去る9月6日(金)平塚市中央公民館大ホールにおいて「第75回全国労働衛生週間 平塚地区促進大会」が開催されました。大会は、平塚労働基準監督署の多田署長よりご挨拶を頂き、平塚市落合市長の祝辞代読へと続き、平塚保健福祉事務所 深谷企画調整課長より来賓挨拶、平塚労働基準監督署 空野安全衛生課長より「全国労働衛生週間」の趣旨説明を頂きました。

その後、労働災害防止3団体共催の「第68回平塚地区安全衛生大会」が開催され、事業場ならびに地区の安全衛生活動の推進に尽力された方々に対して、各団体長より「安全衛生推進優良者」の表彰が行われ、平塚支部19名の方が受賞されました。おめでとうございます。

引き続き、陸上貨物運送事業労働災害防止協会山田分会長より「大会宣言」が行われ参加者全員で確認致しました。休憩後、特別講演として東京労災病院治療就労両立支援セ

ンター管理栄養士平澤様より『健康寿命を延ばす働く人のための動脈硬化予防～コンビニ食を活用した食事の選び方～』と題して、ご講演いただきました。

最後に、神奈川労務安全衛生協会平塚支部磯田支部長の閉会挨拶により、本大会を終了致しました。

株式会社NITTAN 前野 記



令和6年度 安全衛生推進優良者団体長表彰名簿

公益社団法人 神奈川労務安全衛生協会 平塚支部 支部長表彰 (敬称略)

No.	事業場名	被表彰者名
1	日産車体 株式会社	大久保 栄 二
2	日産車体 株式会社	荒 木 信 二
3	日産車体 株式会社	人 見 正 敏
4	日産車体エンジニアリング 株式会社	進 藤 久 憲
5	横浜ゴム 株式会社 本社・平塚製造所	石 川 成 明
6	横浜ゴム 株式会社 本社・平塚製造所	府 川 実
7	田中貴金属工業 株式会社 平塚工場	清 田 一 義
8	第一三共プロファーマ 株式会社 平塚工場	仲 亀 良 臣
9	関西ペイント 株式会社 平塚事業所	森 貴 一
10	富士フイルムワコーケミカル 株式会社 平塚工場	佐 藤 章 子
11	株式会社 K E L K	佐々木 雄 二
12	株式会社 小松製作所 湘南工場	高 松 正 幸
13	株式会社 山川機械製作所	重 信 徳 男
14	高周波熱錬 株式会社 湘南事業所	海老澤 裕 貴
15	株式会社 ネットンハイメック	北 村 恭 平
16	秦野パイプセンター 株式会社	山 本 光 輝
17	株式会社 K M C T 秦野工場	小 野 尚 志
18	株式会社 トーブラ	成 瀬 徹
19	伊勢原工業団地協同組合	村 永 直 樹



「初めまして、よろしくお願ひします」

古河電気工業(株) 平塚事業所・衛生管理室 兼行 遥

初めまして、古河電工で保健師をしております兼行遥と申します。昨年大学を卒業し、平塚事業所の保健師として着任しました。実際に働きだして、社員の皆さんとの日々の関係構築の重要さをひしひしと感じています。社員からの質問には迅速に対応するよう心掛けたり、何か依頼する際には社員の負担を考慮し配慮したり、事業所の中ですれ違った際には「最近どうですか?」と一言声をかけて会話をしたり……。細かい配慮や社員との何気ない会話、1つ1つはなんてことの無い行動なのでしょうが、そういった積み重ねが、社員との関係構築につながり、いずれは信頼される存在になるのだと思います。

平塚事業所に来て約1年が経ちましたが、保健師の先輩方や産業医の先生方に支えられ、少しずつですが社員の皆さんと関係を構築出来ている気がしています。保健師としてまだまだ未熟で、日々難しいと思うことも多々ありますが、いずれ社員の皆さんから信頼される保健師になりたいと思っています。

また、今回着任と同時に労安協衛生部会にも参加させていただくことになりました。皆様とご相談したり意見交換したりする機会があることは、非常に心強くと感じております。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



雑感 地震災害を実感

第一三共株式会社 須佐 健二

8月8日に起きた宮崎県日向灘を震源とする震度6弱の地震が発生し、地震災害が多いと熟思しました。被害状況について報道がなされ人的・物的被害が生じている中、「明日はわが身」であると日々起こる災害への意識を高めるきっかけとなりました。

気象庁は南海トラフ地震の想定震源域として南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)を発表されました。直近の南海地震は1944年と1946年に起きており、約80年の月日が経過していることを知りました。南海地震は100年周期で起こると言われており今後日本の巨大災害の1つとして家庭、及び自治体、企業での災害対策についての再確認、認識が高まったように思われました。

そんな中、翌日の8月9日に神奈川県西部を震源とする震度5弱の地震が発生し、今度は「本当にわが身だ!」と実感をしました。私は仕事帰りのバスに乗り込んでおり、乗車数分後に強い揺れがありました。緊急地震速報が車内に響き渡りスマホからの情報を確認すると「神奈川県西部」が震源地でした。これを見た瞬間に悪夢が浮かび、「もしや小○急線STOPか?」と想いながら駅に着きました。駅の改札口には人だまりができており、思惑が的中し、さてどう

するかを考えました。結局、駅、及び駅周辺で電車が運行するまで滞在することになりました。翌日、午前4時に安全確認が完了し上下線の運行が再開されました。ホームでは疲れ果てた人、寝ている人が見られた他、下り電車内には、不通区間から乗車した方も疲れ果てた表情でいました。我が家に到着し状況を家族に話し、休養をとりました。夕刻にホームセンターに行くと防災グッズを購入する方が見受けられ、災害に備える事に対して個人意識が高まっていると感じました。

東日本大震災を経験していましたが、今回の神奈川県西部の地震により「帰宅困難」が私自身にとって非常に苦痛だということを実感しました。災害は何時、どこで起こるかの予測が難しいことは誰もが思っていることだと思いますが、まずは自助を最優先する事、更に災害状況に応じた避難方法や行動、及びレポートラインを日々のコミュニケーションや手順を明確に定めておくことが重要となります。また帰宅困難時における心身状態のケアを重視するとともに自治体や企業の対応(災害備蓄品も含めた確認)を認識し、安心安全を確保できる状態に整備することを一人ひとり再認識することが重要だと思いました。

『2024年度 地区会』

令和6年7月22日(月)日産車体(株)2地区本館・第1イベントホールにて、中央地区、東地区、南地区の3地区合同による地区会が開催されました。鈴木中央地区会長司会の元、椿本東地区会長、細谷南地区会長のご挨拶を頂き、地区会がスタート致しました。初めに細谷南地区会長より理事会の内容説明に続き、支部長ローテーション会社である日産車体(株)磯田様より、①会員事業場の拡大 ②支部行事への参加 ③支部利用・活用の3点について連絡事項(お願い)がありました。

次に平塚労働基準監督署行政連絡として、空野安全衛生課長より熱中症防止について、『大丈夫そうなので一人で休ませた』ということはずに1名監視者を付ける又は目の届く場所で休ませるようにしてほしい。熱中症処置に関する

知識を持っている方がいない場合は、早い段階での病院受診を推奨するお話がありました。平塚市福祉総務課 木村様より講話『活用できる社会資源の紹介』として『こころナビかながわ』『気づいてくださいこころのサイン』『自立支援医療』など多岐に渡る相談窓口や制度のご紹介がされました。保健福祉事務所 保健師岩本様より『若年性認知症について』、実際に診断に用いられる検査を出席者全員で体験しました。さらに『がん検診の紹介』があり、がんは2人に1人が発症する病気であるため、健康診断の結果で再診となった場合は、放置せず受診・早期治療が重要であると講話を頂きました。

最後に細谷南地区会長の閉会挨拶で地区会を終了しました。エア・ウォーター・パフォーマンスケミカル(株) 森泉 記

編集後記

8月8日(木)16時43分に、九州の宮崎県に面した日向灘(ひゅうがなだ)を震源としたマグニチュード7.1、震度6弱という大きな地震が発生しました。宮崎県は私の故郷で家族が住んでいる街なので、直ぐ電話をかけて様子を聞きましたが、幸い家族や親せき、知人等に怪我や被害等が無く安堵しました。

その後、気象庁から「南海トラフ地震を誘発する恐れがあるので、関東から九州の太平洋に面した一帯は、今後1週間災害への備えを怠らない様に」という警報が出されました。この警報は気象庁が初めて出したという事で、該当と

なった地域そして平塚地区の方々にも緊張が走ったと思います。更に追い打ちをかける様に翌日9日の20時前に、神奈川県西部を震源とした震度5弱の地震が発生し、より一層の危機感を高められたのでは無いでしょうか?

幸い、この記事を書いている時点では大規模地震は発生していませんが、その危険性が無くなった訳ではありません。阪神淡路や東日本大震災を契機に災害への対策意識は高まっていると思いますが、どうしても時が過ぎるとその緊張感は薄れてしまいます。日本は地震大国と呼ばれ常に地震と隣り合わせで生きてきました。地震を止める事は不可能ですが、発生した場合の準備は今でも出来ます。どうすれば一番大事な命を守れるか、その意識は常に持って行動したいものです。(株)KELK 西久保 記